

キャラクター名	プレイヤー名
フィダル・ガブラック	

メインクラス	クルセイダー	Lv.1:		レベル	22
サポートクラス	ダンサー	Lv.1:	セージ	性別	男
称号クラス				年齢	25
種族	ドウアン (天翼族)			境遇	略奪
出自 (効果)	闇の一族			目標	命令→運命：孤独

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	12	8	8	30	33	36	7
ボーナス	4	2	2	10	11	12	2
クラス修正	0	0	1	2	0	4	1
他修正							
能力値	4	2	3	12	11	16	3

HP	198
MP	201
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手									
左手									
頭部									
胴部									
補助									
装身具	(相当品：クラダールリング)								
能力値			2	0	3	0	16	14	9
スキル									
その他									
総計(右)			2	0	3	0	16	14	9
総計(左)			2	0					
総計(両)			2	0					
ダイス数			2 d	2 d	2 d				m

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	11			11	+ 2 d
トラップ解除	2			2	+ 2 d
危険感知	11			11	+ 2 d
エネミー識別	12			12	+ 2 d
アイテム鑑定	12			12	+ 2 d
魔術判定	12			12	+ d
呪歌判定	16			16	+ d
錬金術判定	2			2	+ d

所持品	
ドレスブック	→聖亀の霊薬
冒険者セット	耐毒符
ベルトポーチ	転移の呪符
小道具入れ	ドロップポーチ
キャップライト	
タンガタ・マヌの称号	
ポーションホルダー	
→蘇生薬	
→万能薬	

現在重量：	9
最大重量：	14
所持金：	91975
預金・借金：	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ウイング	★	-	ムーブ	-	自身	自動成功	-	
効果： 天翼族、飛行状態になる。シーン終了まで持続する								
プロテクション	5	3	DR直後	20m	単体	自動成功	防衛中1回	
効果： 魔術。被ダメ-SLd								
アフェクション	1	-	DR直後	20m	単体	自動成功	-	
効果： 対象被DR直後に使用。被ダメを0にする								
ハイウィズダム	3	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： 知力判定達成値+[SL×2]								
エフィシエント	6	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： 効ダ球スキルパワーの魔法攻撃HMP回復ダメ増加軽減を行う分類魔術効果+[SL×2] (《アレンジ》でSL上限6)								
	★							
効果：								
真名の誓い	○							
効果：								
篤き信仰心	○							
効果：								
ラプチャー	1							
効果：								
エンサイクロペディア	1	-	セットアップ	-	自身	自動成功	-	
効果： エネミー識別セットアップ使用化								
コンコードダンス	1	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： 対象場面(選択)、射程視界の全対象にエネミー識別可。判定は1回のみ行う								
リバーサル	2	10	判定直後	20m	単体	自動成功	シールド1回	
効果： 自身以外の判定の達成値に-[SL×3] (最低1)								
クイックサーチ	1	5	セットアップ	-	自身	-	セットアップ1回	
効果： 《エンサイクロペディア》とセットアップスキル1つ使用。使用順は自身決定、対象は同別選択可								
トリビアリスト	1	5	判定直前		自身	自動成功	シールド1回	
効果： 判定を知力で代用判定								
ラーニング	1		効果参照		自身			
効果： 幸運基本値-3。メイキング・CL条件付以外の種族スキルひとつを取得。								

「おれはフィダル・ガブラック。……その顔、さては聞き覚えがおりますかね。ええ、おれは想像通りの者ですよ」「ふああ……あ……。ええ……また任務ですか？ おれ夜型だから、星は眠いんですよええ」

一人称「おれ」。フィンジアス島の天翼族集落の生まれ。黒羽の翼をもつ。神聖ヴァンスタ帝国の天空兵団員でありながら、帝国の暗部組織「マヴの黒蝶」に所属している。一見するとやる気の程が感じられなくのんびりふらふらとしているように見えるが、頭の中では常に思考を巡らせており、抜け目なく動く。いわゆる星行燈タイプ。命令遂行のためなら手段を選ばない。嘘や変装、他者の精神を探ることを得意とする。自分は夜型で趣味は昼寝だと公言しており、昼間はコーデックスを顔に乗せて寝ている姿がよく見られる。普段は飄々としているが、神、特に「月の女神」ブリガンティアへの冒瀆に対しては強き意思をもって罰を下す。

約10年前、天空兵団員でありながら相応の実力者であると認められたフィダルは帝国の暗部組織「マヴの黒蝶」に所属することとなる(表に公にされない帝国の裏事情を族長に流す目的で所属を選んだ)。荒事には慣れていないものの、真の暗部組織にて下される命令の多くは今まで経験したものよりもずっと暗く、凄惨なものが当たり前のようにあった。他者の人生を奪ったり、嘘や変装などによって自分を偽り続けるうちに、フィダルは「自分は一体何なのか」とアイデンティティクライシスに陥る。そんなある日、フィダルはブリガンティアが現れる夢を見た。夢の中で彼女は「自分の名だけは偽らないこと。それが自身の為となる。」ことを予言する。目覚めたとき、フィダルの右手の薬指には、内側に王冠が向いているクラダールリングがはまっていた。それが外れないことを認め、伝説に詠われるクラダールリングであることを確信したフィダルは、名を偽らないことをブリガンティアへ誓う。以来、黒蝶所属のフィダルの名は裏社会の一部で知られるようになるが、それでも尚彼は真名を名乗り続けている。事実、「自分はフィダル・ガブラックである」という揺るがなき事実は、無自覚にも彼の柱になっているようだ。このことが切っ掛けで、フィダルはブリガンティアを強く信仰するようになった。

